

株主の皆様へ

2018年12月発行



弾性を創造するパイオニア
Pioneer of Elasticity

(証券コード：5988)

会社概要・株式の状況

会社概要（2018年9月30日現在）		関係会社（2018年9月30日現在）		役員の状況（2018年9月30日現在）	
設立	1939年9月24日	◆子会社		代表取締役会長	加藤 一彦
資本金	29億6,097万円	(株)パイオラックス エイチエフエス		代表取締役社長	島津 幸彦
従業員	単体：547名 連結：3,243名	(株)ケーエッチケー販売		常務取締役	永峰 肇
本社所在地	〒240-0023 神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町51番地 電話045-731-1211（代表）	(株)パイオラックス メディカル デバイス		常務取締役	永佐 精一
		(株)ビーエムティー		取締役	岡 徹
		(株)パイオラックス ビジネスサービス		取締役（監査等委員）	長村 由紀夫
		(株)ビーエヌエス		取締役（監査等委員）	今西 浩
		(株)パイオラックス九州		取締役（監査等委員）	浅野 謙一
				(補)取締役（監査等委員）	會澤 安生
テクニカルセンター	横浜テクニカルセンター（神奈川県）	PIOLAX CORPORATION	(米国)	上席執行役員	鈴木 木
支店	横浜支店（神奈川県）	PIOLAX LTD.	(英国)	上席執行役員	増田 徹
	真岡支店（栃木県）	PIOLAX CO., LTD.	(韓国)	上席執行役員	杉山 晴
	富士支店（静岡県）	PIOLAX (THAILAND) LTD.	(タイ)	上席執行役員	柴田 晴
	名古屋支店（愛知県）	東莞百樂仕汽車精密配件有限公司	(中国)		
	西日本支店（広島県）	PIOLAX INDIA PRIVATE LIMITED (インド)			
工場	真岡工場（栃木県）	PIOLAX MEXICANA S.A. de C.V. (メキシコ)		執行役員	吉原 達朗
	富士工場（静岡県）	PT.PIOLAX INDONESIA (インドネシア)		執行役員	梶岩 雅昭
		武漢百樂仕汽車精密配件有限公司（中国）		執行役員	永島 雅幸
物流センター	湘南センター（神奈川県）	◆関連会社		執行役員	加藤 育雄
	真岡センター（栃木県）	(株)佐賀鉄工所		執行役員	平子 勝
	西日本センター（福岡県）	(株)ケーアンドケー		執行役員	Clyde Melton

株式の状況（2018年9月30日現在）		株主メモ	
発行可能株式総数	137,370,000株	事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
発行済株式総数	39,254,100株	定時株主総会	毎年6月下旬
株主総数	4,118名	基準日	
大株主（上位10名）		定時株主総会・期末配当	毎年3月31日
		中間配当	毎年9月30日
		株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
		郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
		(電話照会先)	電話 ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
		公告掲載のホームページアドレス	https://www.piolax.co.jp/
		単元株式数	100株
		上場取引所	東京証券取引所（市場第一部）
		証券コード	5988



代表取締役社長
島津 幸彦

当社グループの2018年度中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、政府・日銀による経済政策や金融緩和等により個人消費、雇用情勢が底堅く推移し、景気は全体として緩やかな回復基調にあるものの、米国の保護主義的な通商政策に基づく貿易摩擦、またアジアにおける地政学リスクの高まり等を背景に、依然として先行き不透明な状況が続いております。

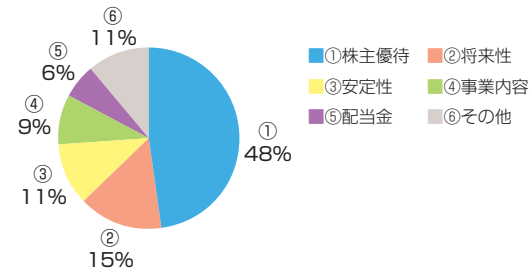
当社グループの主要なお取引先である自動車業界につきましては、海外では中国などを中心に好調を持続しており、また国内でも輸出が好調だったこと等により、国内生産台数は前年と比較して増加となりました。

このような需要環境のもと当社グループといたしましては、お取引先からのニーズを確実に捕捉し、グローバルに拡販活動を継続的に

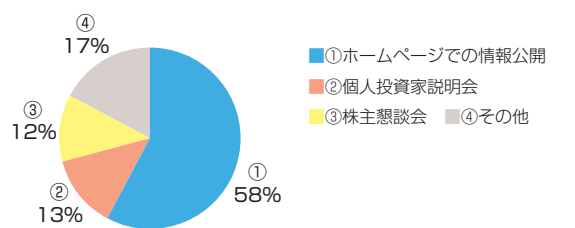
推進した結果、売上高は34,596百万円と、前期比1,399百万円（4.2%）の増収となりました。一方利益面におきましては、増収効果に加え、より一層の合理化を推進いたしました結果、営業利益は5,281百万円（前期比2.1%増）、経常利益は5,799百万円（前期比4.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,333百万円（前期比8.3%増）となりました。

<アンケート回答数4,991名>

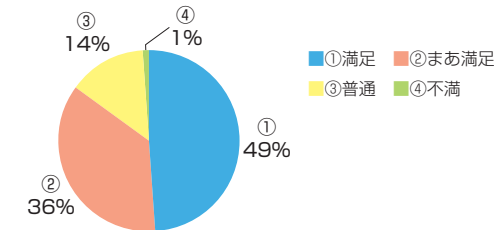
(1) 当社に投資された理由



(2) 今後、当社に望まれるIR活動



(3) 今回の株主優待の満足度



【株主様からのコメント】

- ・株主優待、楽しく選ばせていただきました。ありがとうございます！
- ・有名なデパ地下スイーツなどがあると嬉しいです。
- ・これからも健全安定成長を期待しております。QUOカードありがとうございました。
- ・優待の継続と更なる内容の充実をお願いします。

■株主優待制度のご案内

毎年3月末日現在の1単元（100株）以上保有の株主様にグルメギフト券をお送りしております。
また、2017年度より、1単元（100株）以上を3年以上継続保有の株主様を対象に1,000円のオリジナルQUOカード1枚を進呈させていただいております。

対象株主様

通常優待:「パイオラックス
グルメ倶楽部」ギフト券

毎年3月末日現在の株主名簿に記載された1単元（100株）以上保有の株主様

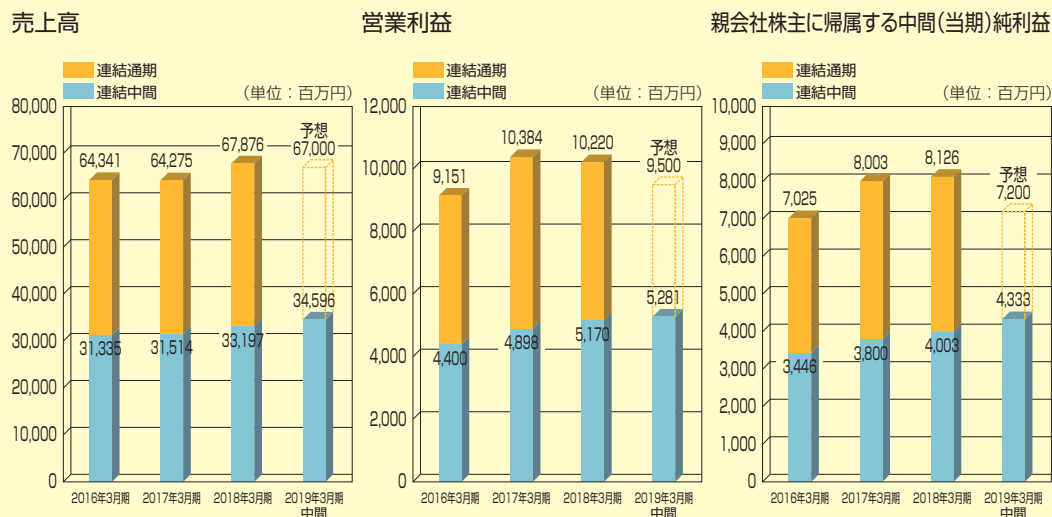
長期保有特別優待:オリジナルQUOカード

毎年3月末日現在の株主名簿に、同一株主番号で3年以上継続して記載されている株主様



◀カタログギフト

▼当社オリジナルQUOカード



【自動車関連分野】

自動車関連は、パイオラックス全体の売上高の中でも約9割を占める主力分野です。1台の自動車ですら当社グループの製品が1,500個以上使用されるケースも珍しくありません。その内容は、精密ばね、樹脂ファスナー、それらを複合して組み立てた小型ユニット部品など、どれも自動車には不可欠な製品ばかりです。国内のカーメーカーをはじめ、海外ブランド車とも取引があります。

■ ファスナー部品

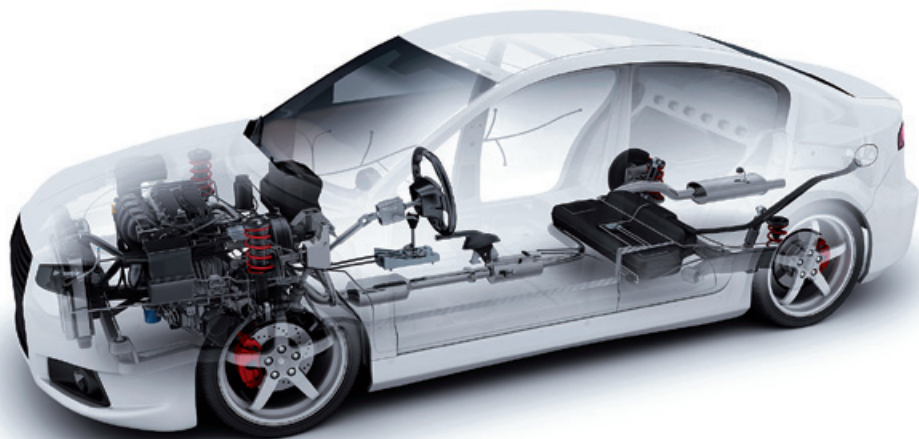


内外装部品の固定や電線を束ねる各種クリップ類、パイプとゴムホースの接合部で、漏れ・抜け止めを防ぐホースクランプなどがある。

■ 開閉機構部品



グローブボックスなどのオープン機構に用いられるエアダンパーやラッチなどがある。



■ 駆動系部品



トランスミッションなどの自動車の駆動機構に用いられるリテーナーASSYや部品保持力を高めるためのスナップリングなどがある。

■ 燃料系部品



燃料を安全で確実に給油・貯蔵・供給するために用いられる各種バルブ類を中心に、チューブ、フィルターなどがある。

【医療関連分野】



自動車部品製造で培った高度な弾性技術、表面処理技術などを応用し、医療機器分野においても、先進性のある製品を開発・製造・販売しております。

身体への負担が少ない「低侵襲治療」用の医療機器を開発し、弾性技術で医療に貢献することを目指しております。

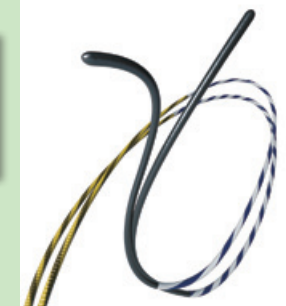
◆新製品紹介◆ 販売名：エンドセクター

内視鏡を用いた治療で使用されるガイドワイヤーです。表面素材の「滑り性能」を大幅に向上したことにより、術者のストレスの軽減とスムーズな手技を実現します。

本製品は、血管分野で培った知見を、消化器分野にて応用展開する新しいガイドワイヤーの形です。

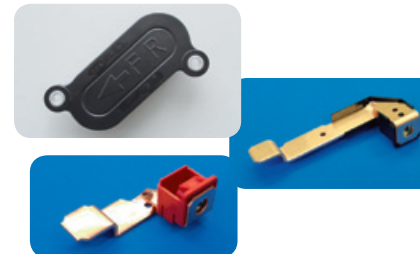


ガイドワイヤー



© 2017 Boston Scientific Corporation. All rights reserved.

【自動車関連分野】 次世代車への対応



パイオラックスの強みである「金属と樹脂の組み合わせ」を次世代車開発にも活用。

国内関連会社（㈱パイオラックス エイチエフエス）にてEV部品の増産体制を強化するほか、EV関連の商品開発を加速化しております。

グローバル展開を目指す製品開発：スプリングクッション

パイオラックスの開閉機構部品は、全ての海外拠点で生産展開を行っており、世界トップシェアを有しております。グローブボックスに装着するこのスプリングクッションは、従来のゴム製からゴム＋樹脂＋ばねを組み合わせることで、①静音性、②グローブボックスの操作性向上、③耐久性向上を実現しました。

北米を中心にグローバル展開を図るほか、車内の静粛性要求が高まるEV/HEV車への搭載を目指しております。



当社開発品

搭載車種

トヨタ自動車(株)：C-HR／レクサス UX
 ダイハツ工業(株)：ムーヴ／キャスト／イース
 本田技研工業(株)：CR-V／アキュラ RDX
 (株)SUBARU：インプレッサ／フォレスタース
 スズキ(株)：ジムニー
 フォード：LINCOLN NAVIGATOR

国内リニューアル計画始動

横浜テクニカルセンター（神奈川県横浜市）および真岡工場（栃木県真岡市）は、建設から約50年が経過しており、共に建て替えが必要な時期を迎えております。

創業85周年である本年を起点とする中長期計画で、新規事業商品開発の為のグローバルテクニカルセンターの具現化と、飛躍的な生産性の向上を実現させる次世代工場の建設を目的として、国内リニューアル計画に着手いたしました。

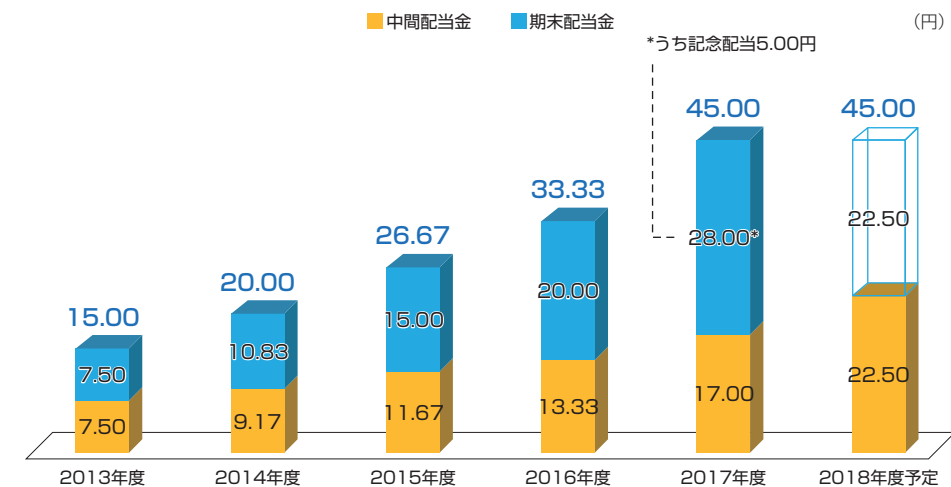


横浜テクニカルセンター（左）／一時移転先の横浜ビジネスパーク（右）



真岡工場

■配当金推移



中間配当金1株当たり22.50円の支払いを開始。2018年度は年間1株当たり45円の配当を予定しております。

（注）配当は、2017年4月1日を効力発生日とした株式分割（普通株式1株を3株に分割）後の値に調整しております。

■ホームページのご案内

URL <https://www.piolax.co.jp/>

パイオラックス

検索

